

平成16年12月6日

B / C 事案（重点事案）に係る地下水調査の結果について（案）

1 概要

環境省では、B / C 事案のうち、8月3日の第5回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会において重点的な地下水調査の実施が必要とされた次の9事案について地下水調査を実施し、毒ガス関連物質（イペリット、ルイサイト、ジフェニルアルシン酸等）の分析を行ってきたが、その結果、2のとおり、大久野島の一部調査箇所において、微量のジフェニルアルシン酸（DPAA）及びその関連物質が検出された（その他の毒ガス関連物質は検出されず）。

なお、その他の8事案については、毒ガス関連物質はまったく検出されなかった。

2 分析結果

事案名	検体数	調査結果
留萌	9	検出されず
水戸	18	検出されず
榛東村	13	検出されず
千葉	46	検出されず
新宿	10	検出されず
横須賀	16	検出されず
五泉	19	検出されず
浜名湖	8	検出されず
大久野島	18	うち北西部海岸付近2箇所より微量のDPAA(0.0098mg/l・0.0045mg/l)を検出。その他の箇所からは検出されず。

3 今後の対応

D P A A が検出された大久野島の事案については、
D P A A が検出された箇所は、いずれも、環境モニタリング用井戸等
あり、また、これまでも国立公園の利用者に供給されたことはないこ
と（温泉等現在利用されている井戸からは検出されていない）
D P A A 検出量が微量であること
すでに、上水は島外からの搬入に切り替え済みであり、また、定期的に
地下水モニタリングを実施する等の安全措置を講じていること
から、現在の利用状況から勘案すると、危険が生じるものではないと考え
られる。

今後は、
毒ガス弾等に関する総合調査検討会において、専門家と相談しながら、
土壌等の環境調査を実施するための具体的な方策を検討する
今回、検出された井戸については、利用者が近づかないよう管理を徹底
する等
毒ガス対策を実施している環境保健部と国立公園の管理を行っている自然
環境局が連携して、公園利用者の安全の確保のために万全の対応を行うこ
ととする。

なお、大久野島以外の事案も含め、今回の調査結果も勘案した上で、年
度内に B / C 事案全体の評価を行うこととする。

